

山県市立小学校及び中学校の適正規模推進の取組について

令和4年度の山県市立小学校及び中学校の適正規模推進の取組については、下記のとおりとする。

記

1 現況

(1) 小学校

小学校は、いわ桜小学校が平成24年度から、伊自良北小学校が平成26年度から、大桑小学校が平成27年度から複式学級となっており、年度ごとの学級数は次の表のとおりである。

複式学級のある小学校の年度別学級数

年度	大桑小学校	伊自良北小学校	いわ桜小学校
平成24	(6)	(6)	5
平成25	(6)	(6)	5
平成26	(6)	5	3
平成27	5	5	3
平成28	5	4	4
平成29	5	4	3
平成30	4	4	4
令和01	5	3	3
令和02	5	3	4
令和03	4	4	3
令和04	4	4	3

(2) 中学校

中学校は、伊自良中学校が平成29年度から、全学年1学級編制となっている。いずれの学校も教育課程の改革や教職員の人事措置を行い、学習環境の整備に努めている。

2 今後の見通し

今後も未就学児の人数が低迷するため、大桑小学校、伊自良北小学校及びいわ

桜小学校は、引き続き複式学級が想定される。また、桜尾小学校は令和6年度に、梅原小学校は令和7年度に、それぞれ複式学級となることが想定されるほか、高富小学校及び富岡小学校は、令和8年度から1年生又は2年生が単学級となることが想定される。

中学校の生徒数は今後も大きな変動はなく、伊自良中学校は毎年度、全学年の1学級編制が想定される。また、美山中学校が全学年1学級編制となるのは、令和11年度以降となると想定される。

3 今後の取組

令和3年度、山県市立小中学校の保護者、山県市立保育園の保護者等を対象に「学校の規模に関するアンケート調査」を実施した。また、山県市立小学校及び中学校適正規模等検討委員会を設置した。現在、アンケート調査結果等を基に同委員会で検討を重ねており、今年度中に答申の手続きを経て、山県市立小学校及び中学校適正規模の推進基本方針及び推進計画の見直しを行うこととする。